

「魅力ある学校へ精進」

江陵高が60周年式典

【幕別】江陵高校(鈴木讓一校長、生徒383人)

の開校60周年記念式典が11日、同校体育館で開かれた。運営する多田学園(多田順一理事長)の理事や教職員、全校生徒らが出席した。

同校は1946年の池田服装裁断学院創設が出发点。56年、多田学園・池田女子高として開校し、64年

に池田西高に改名して男女共学になった。68年に道内初の食物科を新設(76年閉科)。85年に現在の幕別町依田に移転し、現校名となった。2005年には十勝管内の高校では初となる福祉コース(09年度から福祉科)を設置し、10年の節目を迎えた。

午後1時からの式典では

さらなる発展を誓い、式辞を述べる鈴木校長



い」と式辞。小川敏也同窓会長(池田西高78年度卒)が祝辞を述べた。

東納ありさ生徒会長(福祉科3年)は「3年間の実習を通じて、普通科ではできない貴重な経験ができた」と語った。

記念事業として、生徒の自転車置き場を増設。福祉科の生徒2人を、福祉視察のため費用負担する形で台湾に派遣した。

鈴木校長が「厳しい時代もあったが、福祉(コース)の立ち上げ、ボランティア活動を柱とした地域貢献に力を入れるなどし、今では管内外から生徒が集まるようになった。今後も魅力ある学校づくりに精進した

(佐藤いづみ)